

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名    |    | 放課後等デイサービスひびき  |    |     |  | 公表日                       | 令和 8年 3月 1日 |
|---------|----|--|----|-----|--|---------------------------|-------------|
|         |    | チェック項目   | はい | いいえ | 工夫している点  | 課題や改善すべき点                 |             |
| 環境・体制整備 | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。   | 5  |     | 広いとは言えないが、机やカーペット等を使い、エリア分けをして過ごしやすいとしている。設備基準である児童1人当たりの床面積2.47㎡以上を確保できている。 |                           |             |
|         | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。  | 5  |     | 人員配置基準は満たしており、現在の利用者数に対して適切な人員が確保できている。                                      |                           |             |
|         | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。  | 5  |     | 入り口に3段程の階段があるが、事業所内はワンフロアでバリアフリーである。視覚的構造化、手順書を各所に取り入れている。                   |                           |             |
|         | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。  | 5  |     | 毎日の掃除・アルコール消毒を徹底している。児童が落ち着いて活動できる空間づくりに心掛けている。                              |                           |             |
|         | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。   | 5  |     | 個室としても使用できる相談室を用意している。   |                           |             |
| 業務改善    | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。   | 5  |     | 運営会議や昼礼・終礼等により、職員間で情報共有をし業務改善に努めている。   |                           |             |
|         | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 5  |     | 毎年アンケート調査を実施し、職員全員でアンケートの結果を確認して業務改善につなげている。                                 |                           |             |
|         | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。   | 5  |     | 業務を行う上で気になる点が出てきた際には、その都度職員間で話し合いを行い業務改善を行っている。                              |                           |             |
|         | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。   | 1  | 4   |  | 現在のところ、第三者による外部評価は行っていない。 |             |
|         | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。  | 5  |     | 外・内部研修を行っている。外部研修を受ける機会が設けられていて、資質・能力の向上を図っている。                              |                           |             |
| 適切な支援   | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。  | 5  |     | 一人一人の特性や能力に応じたプログラムを作成している。適切に作成、公表している。                                     |                           |             |
|         | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。   | 5  |     | アセスメントシートを用いて、課題などを分析し計画の作成を行っている。   |                           |             |
|         | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。   | 5  |     | 一人一人の特性を理解して、職員間で情報を共有し、検討をしている。   |                           |             |
|         | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。  | 5  |     | 計画は職員に共有されており、計画に沿った支援を行っている。  |                           |             |
|         | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。  | 5  |     | 標準化されたアセスメントツールを使用しながら、保護者の方からの連絡帳等を活用して日々のアセスメントを行っている。                     |                           |             |
|         | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 5  |     | 5領域を網羅しながら、提供すべき支援内容を設定している。   |                           |             |
|         | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。   | 5  |     | 様々な活動プログラムが行えるように、スタッフ間で話し合いサービス提供を行っている。                                    |                           |             |

|  |  |  |   |  |   |                                     |
|--|--|--|---|--|---|-------------------------------------|
| 援<br>の<br>提<br>供   | 18   | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。   | 5 |  | 様々な活動プログラムが行えるように、スタッフ間で意見や情報を共有しながら行っている。  |                                     |
|  | 19   | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                     | 5 |  | 一人一人の状況、発達段階を配慮し個別活動、集団活動を組み合わせた計画、支援を行っている。                                      |                                     |
|  | 20   | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。              | 5 |  | その日の支援内容や役割分担について確認する機会を設け、利用者の状況や変化を職員で共有している。                                   |                                     |
|  | 21   | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                       | 5 |  | その日にあったことを職員間で共有し、共通理解を図っている。   |                                     |
|  | 22   | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                       | 5 |  | 支援記録へ記録を行い、支援の検証・改善につなげている。   |                                     |
|  | 23   | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                        | 5 |  | 半年に一度のモニタリングを行い、適切な見直しを行っている。   |                                     |
|  | 24   | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                 | 5 |  | 「日常生活の充実と自立支援のための活動」「多様な遊びや体験活動」「地域交流の活動」「こどもが主体的に参画できる活動」の4つの基本活動を組み合わせ支援を行っている。 |                                     |
| 25   | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | 5  |   | 日々の支援プログラムの中に、子どもが自己決定をする力を育む機会を入れている。 |   |                                     |
| 関<br>係<br>機<br>関<br>や<br>保<br>護<br>者<br>と<br>の<br>連<br>携 | 26   | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                     | 5 |  | 児童発達支援管理責任者が参画している。   |                                     |
|  | 27   | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                   | 5 |  | 関係機関との顔の見える関係作りを大事にし、連携して支援を行っている。  |                                     |
|  | 28   | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。      | 5 |  | 学校からお便り等を確認している。連絡調整が必要な場合等、適切に行っている。   |                                     |
|  | 29   | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                     | 5 |  | 保護者からの聞き取りや記録等を基に成育歴を知り、支援を行っている。   | 今後、必要な時に情報共有を行っていきたいと思う。            |
|  | 30   | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。             | 5 |  | 職場見学・体験等の時に、情報提供を行っている。   | 書面での情報提供ができていないので、今後必要時に考えていきたいと思う。 |
|  | 31   | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                      | 3 |  | 研修に参加している。  |                                     |
|  | 32   | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。                                       | 5 |  | 近所の公園に外出した時に、地域の子ども達と一緒に活動をしている。  |                                     |
|  | 33   | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。  | 5 |  | 参加している。   |                                     |
|  | 34   | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                             | 5 |  | 連絡帳にその日様子や出来事を記入し、伝えている。また送迎の際にも保護者への情報提供、アドバイスを行っている。                            |                                     |
|  | 35   | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 4 | 1                                      | ペアレントトレーニングは行っていないが、保護者へのアドバイスや事業所内でのSSTの行事に参加して頂いている。                            |                                     |
| 36   | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。   | 5  |   | 契約時に運営規定、支援プログラム、利用者負担等についての説明を行っている。  |   |                                     |
| 37   | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5  |   | 本人や保護者のニーズを聞き、それに基づいて支援を行っている。         |   |                                     |
| 38   | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | 5  |   | 支援内容の説明を行い、同意して頂いた上で署名を頂いている。          |   |                                     |

|          |  |  |   |  |  |  |
|----------|--|--|---|--|--|--|
| 保護者への説明等 | 39   | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。  | 5 |  | 必要に応じて、面談や助言等の支援を行っている。                              |  |
|          | 40   | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 5 |  | 定期的に保護者会を実施している。                                     | きょうだい同士で交流する機会を作れていないので、今後検討していきたいと思う。       |
|          | 41   | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 5 |  | 契約時に苦情に関する相談窓口を案内し、適切な対応ができるように努めている。                |  |
|          | 42   | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 5 |  | おたよりやSNSを活用して、活動概要を発信している。                           |  |
|          | 43   | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。  | 4 |  | 個人情報の取り扱いには十分留意している。                                 |  |
|          | 44   | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。  | 5 |  | 状態に応じて視覚的支援等を用いて情報の伝達を行いながら、意思疎通ができるように努めている。        |  |
|          | 45   | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。  | 2 | 3  | 地域の方を招待することはできていないが、地域の高齢者グループホームに行き、一緒に活動をさせて頂いている。 |  |
| 非常時等の対応  | 46   | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 5 |  | ポケット防災カードを作り、保護者と連絡をとる手段の一つを学習している。また定期的に訓練を実施している。  | 保護者が各マニュアルをいつでも閲覧できるように、事業所の入り口付近に配置を検討していく。 |
|          | 47   | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 5 |  | BCPは策定しており、定期的に訓練等もを行っている。                           |  |
|          | 48   | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。  | 5 |  | 契約時に確認している。また変化があった時は保護者と状況を共有している。                  |  |
|          | 49   | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。   | 5 |  | 契約時に確認を行い、対応を行っている。                                  |  |
|          | 50   | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 5 |  | 安全計画に基づいて、必要な研修や訓練を行っている。                            |  |
|          | 51   | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 5 |  | 緊急連絡先や防災ポケットカードを活用して、緊急時に対応できるように工夫している。             |  |
|          | 52   | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。  | 5 |  | ヒヤリハットを作成し原因と予防策等を職員間で話し合い周知している。                    |  |
|          | 53   | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。   | 5 |  | 虐待防止委員会を定期的に開催し、研修等を行っている。                           |  |
| 54       | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | 5  |   | 身体拘束適正化検討委員会を定期的に開催し、指針の整備及び研修を行っている。また保護者には契約時に重要事項説明書にて説明を行っている。 |  |  |